



土木職

Civil Engineering

土木管理課
(令和6年度入庁)

■現在の仕事内容について教えてください。

墨田区に土地を所有している方からの申請を受け、道路や公園(区有地)との境界を決める業務を担当しています。境界を決め、作られた図面(土地境界図)は民間の土地取引などに役立っています。業務の中で道路や測量のことなど幅広い知識が身につきます。また、私の業務に関しては、現場に出るよりもデスクワークの方が多いです。

■仕事のやりがいや魅力、または印象に残っていることはありますか？

私が担当した土地境界図が、窓口で一般の方に取得されたときや、他部署の事業に必要な図面であったときは、とてもやりがいを感じることができます。また、私の業務に関わらず、土木職は道路や公園といった実際に目に見えて効果が現れる業務が多いため、とても魅力的な業務が多いです。

■職場の雰囲気はどんな感じですか？

アットホームでとても働きやすい職場です。真剣に業務を行いながらも、時々談笑を交えるなど日々、楽しい雰囲気で行っています。また、分からないことや悩み事があっても、先輩方が親身に相談にのってくれるため、不安を抱え込まずに業務に取り組むことができます。

■墨田区を選んでよかったことはなんですか？

北部と南部で街並みが異なるため、現場回りをする中で、墨田区の新しい一面を日々、知ることができることです。また、隅田川花火大会など墨田区特有の業務に携わることができることも魅力です。

■今後の受験生にメッセージをお願いします！

試験勉強で大変な時期だと思いますが、将来墨田区役所で働く姿を想像しながら、ぜひ頑張ってください。皆さんと一緒に働けることを楽しみにお待ちしております。

Schedule ある日の スケジュール

8:30
始業。スケジュール確認、メールチェックなど。
9:00
申請に基づき、境界確定の資料の作成。
12:00
昼食。
13:00
業者と測量方法について打合せ。
15:00
現地立会。境界線について申請者や業者と確認。
17:15
翌日のスケジュール確認をして帰宅。

Schedule ある日の スケジュール

8:30
始業。メールチェックなど。
9:00
外出。利用者宅へ訪問。
11:00
帰庁。訪問記録作成。
12:00
昼食。同期と集まってご飯。
13:00
障害福祉サービス決定に向け、書類作成。
17:15
翌日のスケジュール確認をして帰宅。

■現在の仕事内容について教えてください。

障害のある方が安心して生活できるよう、障害福祉サービスの利用決定や相談対応を行っています。利用者の声に耳を傾け、一人ひとりの状況に合わせた支援を心がけています。また、担当する事業の運営も担っており、利用者が安心して暮らせる環境づくりに努めています。多様な業務を通じて、地域の暮らしを支えるやりがいを実感しています。

■仕事のやりがいや魅力、または印象に残っていることはありますか？

制度だけでは対応しきれない現場の声に向き合いながら、利用者やご家族と一緒に最適な支援を考えていく過程にこの仕事ならではの魅力を感じます。悩む場面もありますが、一つひとつ丁寧に向き合うことで、自分自身の視野や考え方も広がっていきます。日々の積み重ねが信頼関係や安心感に繋がっていくことに大きなやりがいを感じています。

■職場の雰囲気はどんな感じですか？

職場は明るい雰囲気、相談しやすい関係が築かれています。困った時には周囲がフォローしてくれるなど、互いに支えあいながら仕事ができる環境です。忙しい時期もありますが、チームで協力しながら乗り越えています。信頼関係が自然と育まれている職場だと感じており、休暇も取りやすく、プライベートとの両立もしやすいので、無理なく働いています。

■墨田区を選んでよかったことはなんですか？

東京スカイツリー®のような都会的な魅力と、昔ながらの商店街が残る下町の温かさ、どちらも感じることのできる地域で働けることです。

■今後の受験生にメッセージをお願いします！

周囲のサポートを受けながら成長できていると感じています。自分なりのペースで学びながら、少しずつできることを増やしていけます。暮らしを支える仕事に、ぜひ一緒に取り組んでみませんか。



福祉職

Welfare

障害者福祉課
(令和6年度入庁)

STAFF VOICE

職種紹介

墨田区では、19の部署、50以上の課や施設で多様な職種の職員が活躍しています。

ここでは、その中で働く若手職員に仕事の魅力や、日々のやりがいについて聞きました。



保健師

Public Health Nurse

健康推進課
(令和6年度入庁)

■現在の仕事内容について教えてください。

主に妊産婦や乳幼児、精神疾患や難病のある方の相談業務を担当しています。具体的には、新生児訪問、乳幼児健診、家庭訪問、電話相談などを通じて、子育てや日常生活の不安に寄り添いながら支援を行っています。また、こころの健康相談や思春期相談などの相談事業に加え、精神保健に関する地域向け講演会の企画・運営にも取り組んでいます。

■仕事のやりがいや魅力、または印象に残っていることはありますか？

乳幼児健診などを通して、新生児期から関わっているお子さんの成長を見守れることは、仕事の継続性につながり、保健師として職務に当たる上での魅力の一つだと感じています。小さな変化や成長に気づけたときはとても嬉しく、保護者の方と喜びを分かち合える瞬間でもあります。また、担当する地区の方々と関わる中で、「相談してよかった」「話しやすかった」と言ってくれたときには、少しでも力になったことを実感し、大きなやりがいを感じます。

■墨田区を選んでよかったことはなんですか？

保健師としての職務に加えて、隅田川花火大会など区の伝統行事にも携われることです。これらの行事を通して、墨田区の歴史や文化に触れることができ、保健師としての経験もより豊かになったと感じています。

■今後の受験生にメッセージをお願いします！

入庁後のサポートに不安を感じる方もいるかもしれませんが、指導担当の先輩が一年間優しく丁寧に教えてくださり、その後も周囲の保健師もあたたかく支えてくれるので安心です。また、新施設のため執務環境が整っていて、とても働きやすい職場です。ぜひ、一緒に墨田区でお仕事をしましょう。

Schedule ある日の スケジュール

8:30
始業。担当内で朝会、メールチェックなど。
9:00
思春期相談事業の運営、相談会場の準備・片付け、相談に同席。
11:30
相談記録の作成。
12:00
昼食。
13:00
1歳6か月児健康診査、健診終了後にカンファレンス実施。
16:30
担当地区の区民電話対応。
17:15
翌日のスケジュール確認、帰宅。

Schedule ある日の スケジュール

8:30
出勤。早番の保育士から連絡を引き継ぎ、登園した子を順次受け入れ。
9:00
自由遊び。子どもたちが自分で選んだ好きな遊びを見守ります。
10:00
園庭・ホール遊び。怪我がないように見守りながらも一緒に遊びを楽しみます。
12:00
休憩。昼食を食べる。
13:30
子どもたちを寝かしつけ、日誌を記入する。
14:45
子どもたちを起こし、おやつの介助をする。
16:30
遅番保育士に引き継ぎをし、クラスだよりのなどの事務作業。
17:00
帰宅。

■現在の仕事内容について教えてください。

現在は3歳児クラスの担任をしています。大好きな子どもたちといっぱい遊んでたくさん笑って楽しい毎日を過ごしています。子どもたちの「やりたい・やってみたい」の声を聞きながら実現していくように、子どもたちと一緒に考えながら様々な経験ができるようにすることを大切にしています。また、打ち合わせや会議、保育日誌の記入、行事準備、園・クラスだよりの発行も行っています。

■仕事のやりがいや魅力、または印象に残っていることはありますか？

子どもたちの笑顔を見るたびにやりがいを感じています。日々の保育の中で子どもたちが笑顔で過ごしているととても嬉しくなりますし、子どもたちから元気をもらうことができます。子どもたちから「たのしい」という声や保護者の方から「保育園での出来事をたくさん話してくれる」などとお話をいただいたときや子どもの成長と一緒に喜び合えたとき、この仕事をやっていてよかったと感じます。

■墨田区を選んでよかったことはなんですか？

勤務先の東あずま保育園の近くには公園や商店があり、散歩に出かけると「いってらっしゃい」などと声をかけ、温かく見守ってくださる地域の方がいるので、保育もしやすく墨田区を選んでよかったと感じます。

■今後の受験生にメッセージをお願いします！

子どもたちと日々を楽しく過ごすことができ、たくさんの笑顔に囲まれながら成長の瞬間も見ることができるこの仕事は、やりがいしかありません。試験勉強、大変だとは思いますが頑張ってください！応援しています。



保育士

Nursery teacher

東あずま保育園
(令和6年度入庁)

キャリア紹介

区の仕事のやりがいやキャリアの歩みを、現場を支える課長、係長に聞きました。経験を重ねた職員の言葉から、すみだで働く魅力を感じて下さい。

税務課
係長

平成20年4月～平成23年3月	福祉保健部 介護保険課 調査担当
平成23年4月～令和 2年3月	教育委員会事務局 庶務課 庶務・教職員担当
平成27年4月	主任昇任
令和 2年4月～現在	区民部 税務課 納税係
令和 6年4月	係長昇任

これまでのキャリアを振り返って教えてください。

入庁前に約2年間、民間会社で勤務をしました。仕事を通して、「色々な分野の仕事をしてみたい」、「人の役に立つ仕事がしたい」といった自分の希望が明確になり、公務員試験を受験しました。入庁して3つの部署を経験し、7年目で主任、16年目で主査に昇任しました。異動や昇任による業務や立場の違いに苦労することもあります。様々な成功や失敗から学ぶことも多く、少しずつ自信を持って仕事ができるようになってきたと感じています。区役所の仕事は最後には区民をはじめとした誰かのためになると思っていますので、自分の希望通りの仕事に就くことができ、やりがいを感じています。

昇任した理由と現在の状況

現在は小学生二人の子育て中です。子育てをしながら係長になることに大きな不安がありましたが、当時の上司が背中を押してくださったこともあり、「まずは、やってみないとわからない」と昇任を決意しました。日頃から、上司、先輩、同期、部下など、たくさんの人に支えてもらい仕事をしています。部下を持つことにプレッシャーもありましたが、一緒に仕事をするなかで、部下が日々成長している姿を見ると自分のことのようにうれしく、モチベーションが上がります。仕事と家庭のバランスを維持することを意識しながら、日々奮闘中です。

現在の仕事内容について教えてください。

住民税等や軽自動車税の徴収業務に携わっています。税の徴収業務は区民サービスを提供するための財源を確保する重要な仕事です。納付が困難な方の納付相談を受け付け、完納に向けた納付計画を立てたり、納付がない方に対しては、税負担の公平性を確保するために催告や差押え等の滞納処分を行います。専門的な知識や状況に応じた折衝力が必要になる業務ですが、経験を積み重ねることで、スキルが上がっていきます。係内研修やOJTといったフォロー体制が整っており、職員同士のコミュニケーションも活発です。「徴収率向上」という目標に係全体で取り組んでいます。

仕事をする上で大切にしていることや意識していることを教えてください。

明るく、笑顔でいることです。日頃の円滑なコミュニケーションが問題解決の糸口になることもありますので、話しやすい、相談しやすい存在でいられるように心がけています。また、話し合いの場では、相手の立場を考え、話をよく聞いたうえで、自分の考えを伝えるようにしています。自分の周りにお手本としたい働き方や考え方をしている方がたくさんいますので、良いところを少しずつ取り入れて、自分自身の成長に繋げています。

今後の受験生にメッセージをお願いします！

自分にはどんな仕事に向いているのか、なぜ公務員になりたいのか、とたくさん悩まれると思います。区役所では幅広い仕事を経験することができ、区民や職員など様々な立場の方の考え方を知ることができます。墨田区で働くことで、たくさんの人や仕事と出会い、自分にピッタリな答えを見つけてほしいと思います。フレッシュなみなさんと働けることを楽しみにしています。一緒に墨田区の魅力をもっと増やしていきたいしょう！

Schedule

ある日の
スケジュール

- 8:15 出勤。
- 8:30 始業。
メール及び自分と係員のスケジュールをチェック。
- 9:00 決裁業務。
決裁文書の内容確認及び決裁。
- 11:00 主査会。
係長及び主査と打ち合わせ。
- 12:00 昼当番。
電話及び窓口対応。
- 13:00 昼食。
- 14:00 調査文書の回答及び資料作成。
- 16:00 係員とミーティング。
- 17:30 帰宅。

Schedule
ある日の
スケジュール

- 8:30 始業、朝会。
3人だけの組織のため、朝会は欠かせません。
- 8:45 打合せ。(部内の部課長打合せ)
- 10:00 打合せ。(課内の課長・係長打合せ)
- 12:00 昼食。
以前の職場同僚とランチ。仲間とのリラックスタイムです。
- 14:00 カスタマー・ハラスメント対策の検討会議。会議は事前準備が大切です。
- 15:30 事業レク。
重要な事業の方向性を決めるための会議です。
- 17:30 帰宅。

平成 9年4月～平成13年3月	世田谷区児童課
平成13年4月～平成17年3月	区間交流で墨田区に転入、保護課
平成17年4月～平成20年3月	産業経済課
平成18年4月～	主任主事昇任
平成20年4月～平成26年3月	教育委員会事務局指導室
平成26年4月～平成29年3月	係長昇任、財政担当主査
平成29年4月～令和 4年3月	法務課主査
令和 3年4月～	課長補佐昇任
令和 4年4月～令和 7年3月	高齢者福祉課係長(課長補佐)
令和 7年4月～	課長昇任、総務部副参事(デジタル規制改革・コンプライアンス推進担当)

これまでのキャリアを振り返って教えてください。

平成9年度に世田谷区に採用され、結婚のため茨城県に引っ越すことになり、特別区間の交流制度を活用し、平成13年度から墨田区にきました。今年で29年目になります。この間、児童福祉、生活保護ケースワーカー、産業振興、教育委員会事務局、財政、法務、高齢者福祉という、幅広い分野で経験をさせていただき、振り返ると、人事に恵まれたと感じています。係長としては11年間経験し、今年度から課長に昇進しました。係長になる時、そして、課長になる時、いずれも何年間も悩みましたが、「なってみたい」が「不安」を少しでも上回ったタイミングでチャレンジしてみました。様々な方々とのご縁に恵まれ、支えられながら、何とかここまで辿り着いたことに、改めて感謝しています。

現在の仕事内容について教えてください。

令和7年度に新設された組織で、2つのミッションがあります。1つ目は、「デジタル規制改革」です。これは、「区が定めている条例等の中にある、区のデジタル化を阻害しているようなルール(紙で掲示しなければいけない、現地で確認をしなければならない等のアナログ的な手法の条項)を見直し、デジタル化の推進を図ることです。2つ目は、「コンプライアンス推進」です。まず、「墨田区職員におけるカスタマー・ハラスメント対策」の推進を行っています。この2つのミッションを達成するための組織の担当課長(副参事)として、2人の職員とともに組織を立ち上げ、業務を推進しています。

仕事をする上で大切にしていることや意識していることを教えてください。

管理職としては、まず、「部下のために必要なことを、自分の知識と経験の全てを総動員して考える」という、ある経営者の方の言葉を、「部下」だけでなく「私とつながりのある全ての人」と置き換え、意識して実践したいと思っています。また、チームマネジメントとしては、「いま行っている(行おうとしている)ことは、目標に対してどの位置なのか?どういう意味を持つのか?を管理職として明確に持ち、チームに示すこと」を大切にしたいと思っています。一個人としては、俵万智さんの「言葉に「体温」と「責任」を乗せる」という言葉を意識して、言葉を大切に使いしていきたいと思います。

今後の受験生にメッセージをお願いします！

墨田区では、令和6年度に「墨田区総合的人事戦略」を策定し、「人材育成」「働き方改革」「職場環境の整備」などを積極的に進め、ウェルビーイングを意識した働き方を実践しています。より働きやすくなっている墨田区の職務環境の中であれば、みなさんの力を存分に発揮できると思います。是非、一緒にチャレンジしましょう！

総務部
副参事

STAFF VOICE

新人職員

Q&A

学務課

広報広聴
担当

墨田区志望した理由を教えてください！

各区のことを調べる中で、墨田区の「大学のあるまちづくり」に関心を抱いたのがきっかけです。大学と地域が連携して地域課題解決を目指す様子に感銘を受けました。学生時代に区内を訪れる機会も多く、下町情緒あふれる墨田区に愛着があったため志望しました。

今どんなお仕事を担当しているか教えてください！

就学援助を担当しています。学校生活でかかる費用を補助するなど、子どもたちの生活に直結する仕事であるため、大きな責任が伴っています。しかし子どもたちの充実した学校生活に貢献できていると実感することが多いです！区民の方とのやり取りも多く、人と関わることが好きな自分にとってやりがいのある仕事だと思います。

職場の雰囲気、同期との仲はいかがですか？

職場は明るく快適な雰囲気です。疑問点があっても気軽に質問できる環境で、居心地よく楽しみながら仕事に励んでいます。同期との関係も良好で、一緒にお昼を食べたり、勤務後に飲み会をしたりと親交を深めています。同期と会えるのが仕事の楽しみの一つで、これからも互いに支え合える関係でいたいと思っています！

墨田区に入ってよかったと思うことを教えてください！

人が優しいことです！忙しい中でも熱心に指導してくださる課の先輩方や、たくさん話を聞いてくれる同期に囲まれています。また、仕事終わりに都内や千葉で友人と遊ぶことが多く、どちらにも比較的行きやすいです。

受験生にメッセージをお願いします！

試験対策は大変なときもあると思いますが、墨田区は「頑張ったよかった！」と思えるくらい、温かく恵まれた場所だと思います。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。最後まで諦めずに頑張ってください！

墨田区志望した理由を教えてください！

墨田区のインターンシップに参加した際に、職員の方だけではなく区民の方々も積極的に『人と人とのつながり』を大切にしている姿に感銘を受けました。そうした墨田区の人々の温かさに触れながら、職員として地域力の向上に貢献したいと思い芽生え、志望しました。

今どんなお仕事を担当しているか教えてください！

インターンシップ生として勉強させていただいた、広報広聴担当に配属となりました。主に、シティプロモーションに関わる業務に携わっており、中でも、庁内職員のスタッフプライド醸成事業の一環として「プロモーションサポート」を担当しています。「プロモーションサポート」とは、事業をより魅力的に見せることにチャレンジする職員に、地域クリエイターの方々にもご協力いただきながら、広報広聴担当が伴走支援を行う取組です。普段、あまり知ることのない他課の取組を間近で見ることができるため、様々なことを学びながら、サポートをすることができ、とても刺激を得られるお仕事であると感じています。

墨田区に入ってよかったと思うことを教えてください！

自治体職員は、堅くて距離感のあるイメージがあり、中でも区長とは、実際に接点を持つことはなかなかないと思っていました。しかし、墨田区に入庁して、そうした印象は大きく変わりました。区長は職員一人ひとりの名前や所属を覚えていて、ある日、新人の私にまで声をかけてくれたことは、驚きとともに、とてもうれしい出来事でした。区長をはじめ、墨田区の先輩職員は日々のちょっとした接点からも、様々な事業に目を向けていることが感じられ、気軽に話しかけやすい雰囲気です。こうした風通しのいい環境は、自然と庁舎全体の一体感にもつながっており、墨田区に入ってよかったと思う大きな理由の一つです。

受験生にメッセージをお願いします！

公務員試験の対策は長期にわたるため、緊張や不安を感じることも多いと思います。長丁場になるからこそ、うまく気分転換しながら、自分のペースで進めていくことが大切です。勉強の合間に好きなことをしたり、ゆっくり休んだりする時間を忘れずに！墨田区職員として一緒に働ける日を楽しみにしています！

スポーツ振興課
入庁
1年目スポーツ振興課
入庁
5年目

MENTER

安心して成長できる制度

メンター制度

新人職員 × 先輩職員

墨田区では、気軽な相談・助言役である先輩職員を配置するメンター制度を実施しています。

お二人のお仕事について教えてください。



先輩職員

私は、区民向けのスポーツ教室の運営や、各競技大会等のスポーツイベントと一緒に盛り上げてくださるボランティアの募集・運営を行っています。



新人職員

私は主にスポーツ施設の維持・管理を行っています。いつでもスポーツを楽しむことができる環境の整備のため、指定管理者の方々と日頃からコミュニケーションをとって、より良い施設運営に努めています。

配属された時の感想や、印象は覚えていますか？



新人職員

自分が一番希望していたスポーツ振興課に一年目から配属されると思っていたのでとても驚きましたが、すぐうれしかったです。課に来て一番の印象としては、年齢の近い職員の方が多いなと感じました。



先輩職員

初日のガチガチに緊張した様子に、自分の社会人一年目を思い出して少しほっこりしました。後からスポーツ振興課を希望していたと聞いて、自分のことのように嬉しくなりました。希望の部署で生き生きと仕事ができるように、これからも精一杯サポートしていきたいと思っています！

新人職員さんの成長を教えてください。



先輩職員

入庁当初は、電話対応など慣れない業務に戸惑う様子もありましたが、今では、見違えるほど成長して、とても頼もしい存在になりました。持ち前の明るさで、いつも職場の雰囲気を活気づけてくれています！



新人職員

入庁直後は電話対応にとても緊張していたのですが、そういつただけでうれしいです！でもまだまだなので、これからもっと成長できるように頑張ります！

墨田区
ボクシング

両国国技館が東京五輪2020のボクシング競技の会場となった墨田区では、ボクシングをとおした様々なスポーツ振興活動を行い、オリンピック、パラリンピックのレガシーを継承し、発展させています。

入庁後、戸惑ったことを教えてください。



先輩職員

新たな環境で慣れない上に、庁舎内外を問わずさまざまな方とのやり取りが多い仕事なので、最初はとにかく大変だったと思います。今ではすっかり職場に馴染んで、仕事も覚えて立派な社会人です！



新人職員

入庁前に不安だったことは社会人として働くことができるのか、どの課で働いて上手くやっていけるのか不安に感じていました。入庁後に戸惑ったことは仕事の覚え方についてです。入庁した直後は、覚えることが多く、その量の多さとやり方にいっぱいいっぱいでした。

不安や戸惑いは改善されましたか。



新人職員

メンターから、仕事の覚え方について仕事の終わる15分前に今日あったことや行ったことをまとめて記録に残しておくといいよ！とアドバイスをいただきました。また、他の先輩たちにもどのようなやり方をしているか聞いてみようか！と寄り添っていただきとても参考になりました。

未来の後輩職員にメッセージをお願いします。



先輩職員

墨田区役所は5年目の今でも、日々新しい発見がある、とても楽しい職場です。試験対策は大変かと思いますが、無理せず頑張ってください！皆さんと一緒に仕事ができる日を心待ちにしています！



新人職員

入庁してからとても充実した日々を過ごすことができていると思います！就職活動中は大変なこともあるかと思いますが、最後まで諦めず頑張ってください！一緒に働ける日を楽しみにしています！



墨田区が誇る 江戸文化

伝統が息づく江戸文化発祥の街である墨田区。両国周辺には、多くの相撲部屋が置かれ、ちゃんこ料理店が数多く存在し活気があふれています。また、墨田区で生まれたと言われる浮世絵師「葛飾北斎」の作品を展示する「すみだ北斎美術館」も同地域にあります。

例年夏に開催されている隅田川花火大会の開催に当たっては、全庁的に職員が連携し、大会運営や警備等に従事します。こうした伝統行事や文化振興について、区民の方や関係機関と協力し、企画・運営することも区職員の役割であり、大きな達成感を得ることができる魅力的な仕事の一つです。地域を大切に、人と人とのふれあいを大切にする下町人情が息づくまち・墨田区には、皆さんの力が発揮できる場所がたくさんあります！



目指すべき職員像

01
Footwork

前例にとらわれないチャレンジ志向で行動する職員
区政課題に進取の気持ちで取り組み、役割を踏まえて行動する職員

02
Teamwork

チームで成果を挙げられるよう、持続性のある組織運営に貢献できる職員
チームプレイヤーとして課や係などの組織運営に貢献するとともに、自らの知識・経験を後進に伝える職員

03
Network

庁内外における枠組みを超えたコーディネートを行える職員
公民学連携や地域づくりの担い手、区役所全体をワンチームにするコミュニケーションで多くの人を巻き込む職員

04
Headwork

包括的な視点を持って考える職員
相手主語の真摯な姿勢で区民目線と社会情勢への関心を絶やさず、公務員としての基礎力と専門力をアップデートしていく職員

05
Well-being work

「これからの働き方」を自ら体現し、他者に影響を与えられる職員
公私共に自己成長を楽しみ、組織に多様性と活力を与える職員



障害者の雇用及び活躍の推進

障害を有する職員が障害特性や個性に応じて能力を有効に発揮することができるよう、障害者雇用に積極的に取り組んでいます。

- ◆ 特別区における「障害者を対象とする職員採用選考」の実施
- ◆ 区独自の会計年度任用職員（オフィスサポーター）の採用
- ◆ 障害者雇用推進チームの設置や障害者職業生活相談員の選任等によるサポート体制の構築 など



防災待機職員住宅

本区には、災害発生時に初動対応等を行う職員を、職場に近い場所に住まわせるために用意された住宅があります。その時の空き状況により、一定の要件を満たせば入居することができます。

◆ 入居者の役割

入居者には災害時の対応要員として、防災に関する役割が与えられ、災害発生時は初動対応から従事することになります。また、平常時においても「総合防災訓練」や「職員災害対応訓練」等の訓練に参加するほか、無線機器操作講習会への参加、普通救急救命技能認定の資格取得等が必要となります。

◆ 費用

賃借料及び管理費の50%に相当する額となります。
（その他条件により異なります。）



自主研究グループ助成制度

区政推進に資する職員の自主的な研究グループの活動に対し、助成を行うことで、自主的活動の促進に取り組んでいます。配属された所属を超えて職員同士が共に活動できるので、活動を通じて築いた関係をきっかけに、仕事にも協力して臨むことができます。

すみだ魅力発掘研究会が作成した、新人職員向けに墨田区の魅力をまとめたハンドブック



インターンシップ

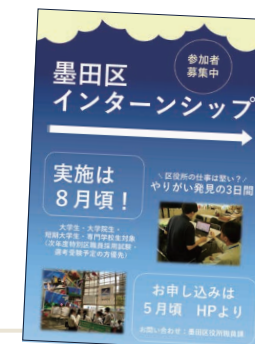
墨田区では、区政や職員の仕事をより身近に感じてもらうため、インターンシップを実施しています。実際の職場での業務体験や職員との交流を通して、行政の現場を知ることができます。区民と向き合う仕事の魅力や、墨田で働く意義を体感できる貴重な機会です。

◆ 実施期間

主に8月（申し込みは春ごろ。詳しくはHPをご覧ください。）

◆ 実施日数

原則3日以内



健康経営優良法人

本区では、職員の健康保持・増進に戦略的に取り組んでいます。その結果、都内自治体としては初めて、経済産業省が実施する「健康経営優良法人認定制度」において、大規模法人部門での認定を受けました。今後もメンタルカウンセリングといった健康管理や福利厚生を充実することで、働き続けたいと思える職場を目指していきます。



ロゴマークの意味

本区に暮らす・働く・訪れる、すべての人に「つながり」の温かさを魅力に感じてもらい、それを地域の力へと変えていきたいという想いと、本区が「これからも『人と人とのつながり』を大切にしながら、未来への道を歩いていく」という決意を表しています。背景の色には、葛飾北斎が使用していた「ペロ藍」のグラデーションを採用しています。

